

健 第 1 4 5 7 号
平成27年2月12日

岡山県医師会長 殿

岡山県保健福祉部健康推進課長
(公 印 省 略)

結核集団感染事例の発生について

結核対策につきましては、平素から格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今般、別添プレス資料のとおり結核に集団感染する事例が発生しました。結核は、依然として国内最大の慢性感染症であり、岡山県においても平成25年には232人の新規結核患者が報告されており、全国的にも医療機関、社会福祉施設等での結核集団感染事例が発生しています。

高齢の患者の症状は気づかれないことがあり、また、罹患率の減少に伴う結核に対する関心の低下などが、施設内での感染の背景になっています。医療機関や高齢者施設は、結核罹患率が高い年齢層の人と疾患等のため、抵抗力が低下した人が集まるため、感染がまん延しやすい環境にあることから、感染者及び発病者の早期発見・早期治療、他の施設利用者への感染防止、患者発生時の対応等の対策の充実・強化が重要とされています。

特に、咳やたんが2週間以上続く、体がだるい、急に体重が落ちる等、結核を疑われる症状がみられる場合は、結核を疑って早めに受診し、検査・診断していくことが必要です。早期発見は、適切な治療につながり、周囲への感染拡大防止のため重要です。

今般の事例の発生を踏まえ、会員の皆様へ結核に関する正しい知識の更なる普及や早期発見・早期対応等の感染症対策の徹底をお願い申し上げます。

また、本通知は、岡山県保健福祉部からの医療安全情報のお知らせ
(<http://www.pref.okayama.jp/hoken/hohuku/tuuchi/top.htm>)にも掲載しております。

<参考> 結核院内（施設内）感染対策の手引き

※下記ホームページに掲載がありますので、参考にしてくださいようお願いいたします。

[http://www.jata.or.jp/rit/rj/院内感染対策の手引き\(2014年最終版\).pdf](http://www.jata.or.jp/rit/rj/院内感染対策の手引き(2014年最終版).pdf)

岡山県病院協会長 殿

岡山県保健福祉部健康推進課長
(公 印 省 略)

結核集団感染事例の発生について

結核対策につきましては、平素から格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今般、別添プレス資料のとおり結核に集団感染する事例が発生しました。結核は、依然として国内最大の慢性感染症であり、岡山県においても平成25年には232人の新規結核患者が報告されており、全国的にも医療機関、社会福祉施設等での結核集団感染事例が発生しています。

高齢の患者の症状は気づかれないことがあり、また、罹患率の減少に伴う結核に対する関心の低下などが、施設内での感染の背景になっています。医療機関や高齢者施設は、結核罹患率が高い年齢層の人と疾患等のため、抵抗力が低下した人が集まるため、感染がまん延しやすい環境にあることから、感染者及び発病者の早期発見・早期治療、他の施設利用者への感染防止、患者発生時の対応等の対策の充実・強化が重要とされています。

特に、咳やたんが2週間以上続く、体がだるい、急に体重が落ちる等、結核を疑われる症状がみられる場合は、結核を疑って早めに受診し、検査・診断していくことが必要です。早期発見は、適切な治療につながり、周囲への感染拡大防止のため重要です。

今般の事例の発生を踏まえ、会員の皆様へ結核に関する正しい知識の更なる普及や早期発見・早期対応等の感染症対策の徹底をお願い申し上げます。

また、本通知は、岡山県保健福祉部からの医療安全情報のお知らせ
(<http://www.pref.okayama.jp/hoken/hohuku/tuuchi/top.htm>)にも掲載しております。

<参考> 結核院内（施設内）感染対策の手引き

※下記ホームページに掲載がありますので、参考にしてくださいようお願いいたします。

[http://www.jata.or.jp/rit/rj/院内感染対策の手引き\(2014年最終版\).pdf](http://www.jata.or.jp/rit/rj/院内感染対策の手引き(2014年最終版).pdf)

お知らせ

結核集団感染事例が発生しました		平成27年1月29日 健康推進課 感染症対策班 担当：芦田、重實 内線：2709、2743 直通：086-226-7331
発生場所	備前保健所管内	
速報年月日	平成27年1月29日	
1 概要 <ul style="list-style-type: none">平成26年9月6日に、備前保健所管内の女性（80歳代）が、肺結核を発病していると診断され、保健所へ結核患者の届出がなされた。女性の家族と、受診及び入院した3病院、1診療所、利用した1短期入所施設で女性との接触度合いが高い61名について、健康診断（血液検査、必要な者へ胸部エックス線検査等）を実施した。現時点で、感染者（※1）7名が確認されており、そのうち、昨年末から今月にかけて3名が肺結核発病と診断された。この状況を受け、昨日、17時30分から備前保健所において、集団感染対策委員会（結核専門家、備前保健所長、病院、施設関係者、健康推進課長等で構成）を開催。感染の状況について確認し、国の定める「集団感染事例」（※2）に該当するとの判断を行うとともに、今後の対応について検討を行った。厚生労働省には、本日報告したところ。女性は、平成26年7月から発熱症状があり病院等を受診しており、現在は入院しているが症状は改善している。肺結核と診断された3名については、現在治療中であるが、無症状である。感染者4名も現在無症状であり、経過観察中である。また、現時点での血液検査結果で感染の判定ができない者が4名いるが、現在無症状であり、経過観察中である。		
2 健康診断 <ul style="list-style-type: none">対象者数 61名 （家族2名、病院同室者11名、病院職員24名、短期入所施設利用者13名、短期入所施設職員11名）発病者 3名（40代、60代、80代、全て女性） （家族1名、病院同室者1名、短期入所施設利用者1名）感染者 4名（50代女性2名、60代男性、90代女性） （家族1名、短期入所施設利用者1名、短期入所施設職員2名）現時点で感染判定ができない者4名（40代、80代2名、90代、全て女性） （病院同室者1名、病院職員1名、短期入所施設利用者2名）		
3 今後の対応 <ul style="list-style-type: none">患者、感染者等への適切な対応施設関係者等への相談対応女性との接触者の健診範囲の拡大医療機関や社会福祉施設に対し、文書での注意喚起実施。医療関係者への技術支援や相談対応を行っている、県結核医療相談・技術支援センター（平成25年10月開設）の更なる利用促進実施。医療機関や施設等に対する研修会実施。		

4 県民の皆様へ

- 結核の初期症状は、風邪によく似ています。①咳やたんが2週間以上続く②体がだるい③急に体重が落ちる等の症状がみられる場合は、結核を疑って早めに医療機関を受診してください。
- 早期発見は、適切な治療につながり、家族や職場等への感染の拡大防止にもつながります。
- 結核を発病しても、きちんと服薬すれば多くの患者は完治します。
- 年に1回は、結核検診（胸部レントゲン検査）を受けましょう。

5 報道の皆様へ

- 本「お知らせ」は、感染症の発生又はまん延の防止のため、結核について広く注意喚起を行うことが目的です。つきましては、感染症の患者等の人権尊重には御配慮、御理解頂きますようお願いいたします。

備考

(※1)「感染者」

結核菌に感染しているが発病していない者

(※2)「集団感染事例」

厚生労働省の定義で、同一の感染源が、2家族以上にまたがり、20人以上に結核を感染させた場合をいい、発病者1人を6人の感染者に相当するとして計算する。

【参考】

結核患者発生状況及び集団感染事例

(1) 発生状況（平成25年）

	新登録患者数	罹患率
全国	20,495人	16.1
岡山県	232人	12.0

※罹患率：1年間の新登録患者を人口10万人対で算出

※新登録患者数には感染者は含まれません。

(2) 結核患者数（平成25年）

	結核患者数	うち活動性肺結核患者数
全国	49,814人	13,957人
岡山県	678人	153人

(3) 結核集団感染事例

全国

年	総件数
平成25年	29件
平成24年	51件
平成23年	68件
平成22年	39件

岡山

年	総件数
平成26年	1件
平成25年	0件
平成24年	1件
平成23年	1件
平成22年	0件